

動物用フリートミン®散50



2022年4月改訂 第9版
2018年4月改訂 第8版

貯法 密閉容器

10kg

トキソプラズマ病予防剤
動物用フリートミン®散50

FREETOMIN® POWDER50

【成分及び分量】

本品100g中
スルファモイルダブソン 5.0g含有

【効能又は効果】

適応症
豚：トキソプラズマ病の予防

【用法及び用量】

1日1回体重1kg当たり、スルファモイルダブソンとして下記の量を少量の飼料に混じて経口投与する。
豚：2.5～5.0mg（本剤として50～100mg）

内袋：PE

外袋

A-FRX50 10K

承認指令書番号 2畜A第2960号
販売開始 1991年 2月

動物用医薬品

使用基準

販売
住友ファーマアニマルヘルス株式会社

大阪府中央区本町2-5-7

製造販売元

松村薬品工業株式会社

大阪府四條畷市中野本町2-3

製造番号

使用期限

動物用フリートミン®散50

【使用上の注意】
(基本的事項)

- 守らなければならないこと
(一般的注意)
 - 本剤は効能・効果において定められた適応症の予防にのみ使用すること。
 - 本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
 - 本剤は獣医師の指導の下で使用すること。
 - 本剤は「使用基準」の定めるところにより使用すること。

注意：本剤は医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第83条の4の規定に基づき上記の用法及び用量を含めて使用者が遵守すべき基準が定められた医薬品ですので、使用対象動物(豚)について上記の用法及び用量並びに次の使用禁止期間を遵守して下さい。
豚：食用に供するためにと殺する前5日間

(豚に関する注意)

- 本剤は過剰にわたる連続投与を避けること。
(取扱い及び廃棄の為の注意)
 - 本剤の外観又は、内容物に異常が認められた場合は使用しないこと。
 - 開封後は、できるだけ速やかに使い切ること。
 - 使用期限年月を過ぎたものは使用しないこと。
 - 小児の手の届かないところに保管すること。
 - 本剤の保管は、直射日光・高温及び多湿を避けること。
 - 誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。
 - 使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
 - 本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。

2. 使用に際して気をつけること

(使用者に対する注意)

- 本剤の取扱い時には、防護メガネ・マスク・手袋・作業着等を着用すること。
- 飼料等に混合する際は、マスク等を着用し、粉じん等を吸い込まないように注意すること。
- 誤って薬剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。

(豚に関する注意)

- 副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

【製品情報お問い合わせ先】

住友ファーマアニマルヘルス株式会社
〒541-0053 大阪府中央区本町2-5-7
<https://ah.sumitomo-pharma.co.jp>



獣医師、薬剤師等の医薬関係者は、本剤による副作用などによると疑われる疾病、障害若しくは死亡の発生又は本剤の使用によるものと疑われる感染症の発生に関する事項を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するために必要があると認めるときは、上記【製品情報お問い合わせ先】に連絡するとともに、農林水産省動物医薬品検査所(<https://www.maff.go.jp/nval/iyakutou/fukusayo/sousa/index.html>) にも報告をお願いします

9-520450